



眼科 佐々木 洋教授

3 焦点眼内レンズによる白内障治療

- 近年、手術機器の改良と新しい眼内レンズの登場により、白内障手術は著しく進歩しました。
- 多焦点レンズは白内障手術の 2%程度であり、日本国内ではまだ一般的な手術ではありませんが、徐々に増加しています。
- 98%の患者さんに挿入されている単焦点眼内レンズは 1 か所にのみピントが合うレンズなので、術後は眼鏡が必要になることがほとんどです。一方、多焦点眼内レンズは、出来るだけ眼鏡をかけたくない人にお勧めしているレンズです。
- 従来が多焦点眼内レンズは遠方と近方の 2 か所にピントが合う 2 焦点眼内レンズでしたが、昨年度から当院で採用した 3 焦点眼内レンズは遠方、中間距離、近方の 3 か所にピントが合います。
- 具体的には近方 40 cm、中間距離 60-70 cm、遠方を裸眼で見ることができます。近方は新聞や携帯電話、中間距離はデスクトップのパソコンや楽譜、カーナビなど、遠方は運転やゴルフなどが眼鏡なしで見やすくなります。
- 乱視のある方でも、乱視矯正対応のレンズがあるので使用可能です。
- 3 焦点眼内レンズは世界中で使用されていますが、国内ではまだ未認可のため、手術は自由診療になり費用（片眼約 38 万円）は自己負担になります。
- 白内障以外の眼疾患のある方や不正乱視のある方など、本レンズの適応にならない場合もありますが、白内障による視力低下が疑われる患者さんで眼鏡に依存しない日常生活をご希望される方がいましたら、是非、当院眼科にご紹介ください。
- 白内障専門外来は月曜日ですが、初診は何曜日でも対応いたしますので、よろしくお願いいたします。

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital